

あ・うん

金剛禅総本山少林寺広報誌

vol.
10

2010 皐月・水無月



人づくりの実例

少林寺拳法ならではの
社会貢献活動



少年部班長



鈴木湛山道院長：1948年7月生まれ。358期生。大導師正範士七段。1986年、大日道院認証。写真下：地元・四街道市が文化活動の一環として行っているダンスフェスティバルには、毎年、75～90人で参加し、圧倒的な存在感を示している。これを見ての入門希望者も多い。



一般幹部。武道専門コース学生(14人)、修了者(3人)の拳士が中心となっている。



少林寺拳法ならではの 社会貢献活動

千葉・大日道院

「学生は勉強、社会人は仕事」と、常々、門下生に話している鈴木湛山大日道院道院長。大日道院では、有名進学校・大学に進む子供が多く、また、会社役員や校長など責任ある立場で働く拳士を多く輩出している。しかも、受験や就職で一時休眠しても、志ある拳士が復帰しており、少林寺拳法への定着率が高い。進学先の高校・大学少林寺拳法部に入部した拳士は、機会あるごとに「ふるさと」大日道院の練習に顔を出し、後輩に刺激を与えている。拳士・家族が皆、金剛禅の教えを理解しているからだと言、鈴木道院長は話す。

拳士一人ひとりの意識・意欲が非常に高い大日道院。修練には、少年部で約50人、一般で約30人が常時参加し、

気持ち・気迫・スピード、そして笑顔の溢れる修練風景を見ることができ

たくさんの仲間、強い心の絆、
自信と勇気が育まれる環境

る。少年部、一般とも、それぞれ複数の班長、幹部が鎮魂行から終わりまで場を仕切り、技の手本を見せ、指導を行う。鈴木道院長は端で見守り、必要ときに手助けをするのみである。責任ある立場を与えられた班長、幹部には緊張感とよい意味でのエリート意識が芽生え、ひいては日常生活での態度にもよい変化を与えているそう。また、そのような班長、幹部の姿は、他の拳士にとって、すぐ身近にいる目標、憧れとなっている。「人前で話すのが苦手だったけれど自信ができた」「友達がいっぱい増えた」「仲間が優しい」「心が強くなった」と話す拳士の顔は、皆それぞれに輝いていた。

地域のイベントや学校の文化祭なども積極的に参加して少林寺拳法の演武を発表し、意欲的に広報活動を行っている。ボランティア活動も活発だ。

鈴木道院長は、いじめを聞くとすぐ現場に駆けつける正義感に満ちた熱血漢である。わかりやすく教えを説き実践する道院長への信頼感、心強い仲間の存在は、拳士に安心感を与え、自覚と責任感を持たせる。大日道院では、思いやりの心を持った指導者が確実に育ち、学校や社会で活躍している。

担当／山下真由美



きむらひろし
木村弘史道院長：1952年3月生
まれ。291期生。大導師正範士
七段。1980年10月、境港道院
認証。武道専門コースの教員も
務めており、各地で金剛禪と少
林寺拳法を熱く説いている。



重度障害者の初詣で
の車椅子介助活動



道場近くの海岸の清掃活動

さかいみなと 鳥取・境港道院

人づくり の実例

地方における金剛禪布教活動の拠点「道院」。人々が集い、心が満たされる場として、地域に根を下ろした活動を、それぞれ工夫を凝らして行っている。今号では、大日道院と境港道院を紹介する。この2道院は、長年にわたり継続的に人づくりを実践してきた功績を認められ、2010年少林寺拳法グループ表彰を受賞した。

可能性を信じ、感性を磨く、 周りによい影響を与える人に

「己れこそ己れの寄るべ——」、境港道院の鎮魂行では、まだ文字の読めない小さい子もしっかりと教典を唱和している。聞いているうちに自然と覚えてたそう。道院で教えているのは、単に技だけではなく、人としての生き方なのです」と話す木村弘史境港道院道院長は、金剛禪思想をいかに日常生活で生かすかを重視して道院運営に当たっている。「道衣を着ていなくても拳士」と、日ごろから感性を磨き、物事の本質を捉えられる自分なりの目を持つことを、法話や修練の中で常に説いている。

交流合宿やバーベキューなどのイベントも積極的に行い、専有道場は必要に応じて地域活動の場としても提供している。本山達磨祭にも毎年、鳥取の名産品を出店協力しており、2009

年達磨祭法要の中で、本山より感謝状が授与された。また、1999年から重度障害者の初詣での車椅子介助活動を毎年続けている。道院開設以来、毎年元旦に寒稽古を行っていることから、永続して活動できると考え引き受けたボランティア活動だ。患者さんが購入した好きな色のお守りを手にしたときの笑顔が忘れられない、と木村道院長は話す。ほかに、開祖デー活動として海浜清掃を地道に行っている。

「学校では教えていないことを道院では教えてくれる」と少年部の拳士、「道院に人が集まるのはひとえに道院長の魅力」と一般部の拳士は言う。技術修練では、技の根幹をつかもうと自発的に研究する姿が印象的であった。そして、練習後は朝まで熱く語り合うこともある。

拳士から慕われている木村道院長だが、実は教えるの重要性がわかったのは、道院長になって10年たってからだという。しかし、失敗も財産とし、体験を語り、ありのままの姿を見せる道院長に、拳士は励まされ充電されている。自分の可能性を信じ、周りによい影響を与える人づくりの場がここにはある。

千葉県教区

ダーマとダーマの分
霊価値高い自己

1月31日、千葉県教区では千葉市の三井ガーデンホテル千葉に、昨年に引き続き矢島隆禪関東地区担当総代を講師としてお招きし、第2回教区研修会を執り行いました。

今年のテーマは「ダーマとダーマの分霊」価値高い自己。ダーマは金剛禪の信仰の中心であるにもかかわらず、その働きを見ることができぬがゆえ、正しく捉えるため、あるいは人に伝えるために多くの努力を払っている重要な学習課題です。そのようなダーマについて、矢島講師はまず、ダーマの三つの性質（徳性）①生成育成、②調和



させる力、③公正無私を説明されたうえで、人間のダーマに通じる点を具体的に6項目列挙し、人間が万物の霊長として、ダーマの分霊として、そして霊止として、いかにすばらしい存在であるかを、気づかせてくれる講義をしてくださいました。

当日、集まった県内の道院長と僧階を有する幹部拳士約120人も、スーツ姿に輪袈裟、念珠という装いでメモを取りながら聞き入り、ダーマを伝えていく使命を再認識しました。（藤田竜太）

岡山県教区

有意義だった県教区
研修会・懇親会

3月14日、ピュアリティまきびにおいて、岡山県教区の研修会が、大西要副代表を講師に招いて開催されました。県内より58人の道院長・部長・幹部が出席。質疑を含めて2時間ほどの時間でしたが、「金剛禪運動を日常生活の中でどう生かしていくか」をテーマに講演をしていただきました。

強く心に残ったことは、大西副代表が仕事や少林寺拳法で培われた大勢の人々とのつながりを大事にされてこられたこと



や、「事上磨錬」という王陽明の言葉を引用され、ある事柄に携わるならば、そのことによって自分の心を錬磨し、学んだことを次に生かそうとする姿勢を大切にしなければならぬという二つのことです。講演の後の質疑では、組織機構改革に関連した質問が多く出ました。

その後、会場を替えて大西副代表を囲んでの懇親会が開かれました。終始和やかな雰囲気の中、歓談を通して大変充実した時を過ごすことができました。（大森彰）

本部道院

開祖生誕99年を祝う会

2月10日、本部道院では総勢90人もの拳士・関係者が集まって、「開祖生誕99年を祝う会」が行われました。

初めに、「少林寺拳法解体新書（Dissecting the Shaolin Kempo）」を鑑賞し、開祖の生い立ちや、人づくりの道を志して少林寺拳法を創始した経緯について学びました。その後、少年部（低学年）、少年部（高学年）、一般部（男性）、女性（拳士・保護者・コース制）の4つのグループに分かれ、それぞれに浦田武尚道院長、大西要副道院長、山崎博通禪林学園校長、坂下充指導員が加わり、開祖にまつわるお話を頂きました。法座の後には全員で鎮魂行を行いました。

そして茶話会へ。宗由貴総裁が「自分の感性を信じよう。そのためには感性を磨くこと——」開祖にはこの言葉を最も多く言われました。今この言葉の意味がよくわかります。ぜひお互いに感性を磨き合ひましょう」とご挨拶された後、参加者一人ひとりが開祖生誕99年に寄せて、2010年の目標を書き出しました。

この日は道衣を着用しての修練ではありませんでしたが、開祖の志に触れるとともに、自らの目標を考えることのできる意義ある一日になりました。（飯野貴嗣）

愛知県教区

新春法会

1月24日、愛知県教区として初めてとなる新春法会を、愛知盟友道院にて開催しました。愛知県教区の小区長25人をはじめ総勢40人が参列したほか、浦田武尚代表と柳川瀬一美東海地区担当総代にご来賓としてご参加いただき、厳粛に式典が執り行われました。

愛知県教区の深谷求教区長の導師献香に始まり、教典を全員で唱和しました。宮地峰樹日進南道院長による肅々たる門信徒代表挨拶、今年1年の抱負と決意を表明した導師年頭挨拶に続き、ご来賓による祝辞を頂戴し、遠藤浩克名古屋高針道院長と青木雅功名古屋宝南道院長による威厳ある奉納演武で式典を終りました。

式典終了後は、浦田代表と柳川瀬総代にも参加していただき、懇話会を開催しました。その中で浦田代表からは開祖にまつわる貴重なお話とご自身の体験談を語っていただくことができました。参列者全員が新たな気持ちで本年の一步を踏み出せたと感じることができました。（伊藤隆章）



道院

「道院」という名称は、武道の道場と仏教の寺院とを合成した文字で、道院としたものだ、私は思っていた。『教範』をよく読んでいなかったのである。

『教範』には中国の道院との違いが2ページにわたって記述されており、『50周年史』にも道院の満州総院で陳先生に小手巻^{こてまき}返らしい技で開祖が投げ飛ばされたエピソードが紹介されており、道院という名称の由来が確認できる。そして、その道院の外郭団体として紅卍字会が存在し、戦時や天災

メーじとはまるで違う宗教的雰囲気を持った「道院」と宗教団体「黄巾教団」を1948（昭和23）年12月に設立した。

開祖は少林寺拳法を組織化する際、中国の^幫のように社会的地位が異なる人たちも横のつながりを持つて助け合うような団体にも目を向けている。日本人の持つ縦のつながりに加えて、横のつながりを併せ持った、縦横、織物のような人間関係を持つ団体にしたかったのだ。天地会、三合会、竜華会、などの幫が中国に存在し、それが少林寺拳法の各種拳名に取り入れられていることを鑑^{かん}みても、開祖の幫に対する、そして道院に対する思い入れが窺^{うかが}える。

敗戦後の焦土と化した日本で、正義感を持った自信と勇気と行動力のある人を育てる以外に日本の復興はないと確信した開祖は、その人を育てるための「行」として、少林寺拳法を生み出した。

開祖はこの道院、紅卍字会にちなんで、これまでの武道のイ

「道院」という名称には少林寺拳法を、イザというときに助け合える正義の団体にしたいという開祖の熱い願いが込められている。

開祖語録 ダイジェスト

1975年7月15日
夏季大学拳法部本部
合宿A週（2日目）



誕生があるから死がある。生まれなければ死ぬこともない。両親を因^{もと}として、自分がこの世にある。自分の過去のさまざまな行為の結果として、現在の自分がある。およそこの世の現象には、必ず原因がある。

しかしだ、実際にどんな場合でも原因と結果だけだろうか。同じ種類、同じ大きさの木を植えても、その一本一本が植えられた場所、環境条件によって、日光、土壌、水、肥料など媒介物の相互作用の結果、ある木は育ち、ある木は育たない。同じようには育たない。

条件の相互作用のことを、仏教では縁と呼んでいる。すべてのものは縁によって生じ、縁によって滅する相対の世界である。人間として例外ではない。一人ひとりに働きかけて、その人間の変化、成長を促す縁の働きによって生かされている。もしあの人に出会わなかったら、自分はどうなっていたであろうか。もしあの本を読んでいたであろうか。どんなふうにかえられるようになったであろうか。など、今まで歩んできた人生における貴重な出会いの幾つかに誰もが即座に思い当たるに違いない。人生は出会いである、といわれているゆえである。

人生は出会いである。
すべては縁によって生じる。

僧階昇任者

中導師

■2010年2月1日付

大沼 英男(石狩花川道院)
青木 賢隆(富良野光明寺道院)
山口 芳幸(八王子南道院)
老田 尚(ひだ萩原道院)

山崎 武宏(大阪狭山道院)
北野 裕士(大阪高槻道院)
講初 修(田辺東道院)
板谷 茂雄(倉敷西道院)
妻形 淳(徳島美馬道院)
西村 久夫(福岡伊都道院)

梶原 俊一郎(佐賀白石道院)
緒方 公(御船道院)
木村 俊介(八代白鷺道院)

■2010年2月21日付

富澤 則夫(埼玉本庄児玉道院)

2010年2月度 認証

●新設

富士北道院

佐野 晋一

●交代

埼玉本庄児玉道院

富澤 則夫

新潟三条道院

和久井 亮輔

萩道院

神野 敬久

お布施

▷福島桑折道院 斎野 光樹
▷高砂鹿島道院 砂川 健次郎
▷福岡西道院 佐藤 健二
▷岐阜県教区
▷岐阜加納道院

20,000円
200,000円
20,000円
30,000円
5,000円

▷小坂 久美子
▷日進南道院 宮地 峰樹
▷星野 衛
▷星野 トイ

20,000円
5,000円
10,000円
10,000円

金剛禪総本山少林寺改修基金

▷福山北道院 瀬尾 和弘 30,000円
▷黒石道院 鈴木 彰 30,000円
▷清水袖師道院 平井 富士雄 100,000円

金剛禪用ポスターのご案内



この度、拳士増加の取り組みの一環として、3種類の金剛禪用ポスターを作成いたしました！

事務基幹システムの道院長専用画面よりデータをダウンロードしてご利用ください。下部の白枠には、道院名、連絡先などを記入してください。

本ポスターは金剛禪用であり、別途お送りいたしましたポスター取り扱い上の注意事項をご覧のうえ、ご活用ください。

また、本ポスターにより、新規入門者の増加につながったという成果がありましたら、ぜひ情報をお寄せください！

なお、PC手続きを利用されていない道院長の方で、連絡先を記載したポスターの作成や、貴道院の写真に差し替えたポスターの作成など、ご要望やご不明な点がございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。

【お問い合わせ】 宗務部 担当／倉本友子 TEL.0877-33-1010

FAX.0877-56-6022 電子メール announce@shorinjikempo.or.jp

2010年度本山講習会のお知らせ

幹部拳士の更なる飛躍のために、今年も、講習会を開催いたします。本山指導員が、金剛禪教学・技法共に、わかりやすく直接指導いたします。ぜひお誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください。(※各講習会の詳細は、後日、本誌上でご案内します)

講習会1次 開催日 9月18日(土)9:00～20日(月)15:00

対 象 初段以上、16歳以上

(※四段以上を対象に圧法講習あり)

講習会2次 開催日 10月30日(土)9:00～31日(日)15:00

対 象 初段以上、16歳以上

レディース・ファミリー拳士の集い(仮)

開催日 10月9日(土)～10日(日)

対 象 女性拳士、家族拳士

5月は開祖デー月間です！

●●● 2010年開祖デー ●●●

僕たち、私たちが社会の役に立てる“時”

～開祖の思いを“かたち”にしよう～

①開祖デーの意義

仲間とともに力を合わせる
ことによって、より大きな
力を生み出せることを体験
しよう。

②次世代リーダーの育成

メンバーの動機付けを促し、
協同意識を芽生えさせる
リーダーシップを発揮で
きる人を育てる。



5月の本山行事

8日(土)～9日(日) 道院長研修会1次
16日(日) 定例昇格考試・帰山
22日(土)～23日(日) 道院長研修会2次
29日(土)～30日(日) 道院長研修会3次

6月の本山行事

5日(土)～6日(日) 道院長研修会4次
20日(日) 特別昇格考試・認証式
26日(土)～27日(日) 道院長研修会(九州・沖縄)



宗務局長 田村 明

vol.10 有志者事竟成

清風

有志者事竟成（志ある者は事に成る）

「どんなに難しいことでも、強い志があれば必ずやり遂げることができる」。後漢書に出てくるこの言葉の意味である。

我々も開祖の志を成し遂げるために、少林寺拳法の指導者になった。単なる理解ではない、実現するための強い自覚と実行力が伴い、自らが成し遂げる意気込みが必要なことは言うまでもない。開祖の大きな目標を成し遂げるために、我々は具体的な環境を整える必要がある。金剛禪においては、金剛禪思想の布教である自己変革にとどまらず、その考え方に共鳴してくる人をたくさんつくり、世の中を変革してゆくことであらう。それにはまず自らが変わらなければならぬ。そしてその思想に基づいて行動してゆくことが金剛禪布教者に求められている。「行念一致」である。

開祖の志、師家の思いの実現が夢で終わることのないように、一歩一歩進んでいくことが必要である。今回の組織機構改革の成功は、志の貫徹だけではなく、社会に必要な、そして社会に適合したものでなければならぬことは当然のことである。

武専修了

合掌。はじめまして。

修了式当日、やつとの思いで兵庫武専の研究科4年の出席が7回となりました。残念ながら式では、証書は頂けませんでしたが（当たり前ですね！）。

しかし、わが家へ帰ると、子供たちから「卒業おめでとう」と、かわいいデコレーションケーキのプレゼントを受けました。父子家庭の中、いろんな出来事をつくってきた私ですが、11年間を終えて、子供たちからケーキのお祝いを頂くと、夢にも思いませんでした。

一期一笑



イラスト／大原由軌子

投稿大募集 道場や拳士のちょっとした話を募集しています。
※ペンネーム可ですが、必ず、名前、所属、連絡先もご記入ください。
なお、原稿内容の整理・編集をさせていただきます場合があります。原稿の選択はご一任ください。〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-17-5
東京別院 広報誌担当宛 TEL.03-5961-1400 FAX.03-5961-1401
e-mail: aun@shorinjikempo.or.jp

至らぬ父親の道楽の一区切りを祝ってくれる子供たち。支えられて続けられたことを改めて実感しました。こんな優しい子供たちに囲まれ、幸せ者です。

度々、不思議な体験をさせてくれた少林寺拳法でした。

兵庫県は、全国でも武専の生徒数が多い方らしいです。遠方から泊まりがけで通う人もありました。皆のひたむきな姿に、やり遂げようとする力強さを感じ、私のこれから始まる険しい道を歩く勇気を頂きました。とても勉強になった兵庫武専、ありがとうございました。結手

（明石道院・本田明彦・51）

File.10 財務部経理課・財務課（2010.3月現在）



本山見える課

事務局紹介のコーナー

財務部の財務課および経理課では、主に、本山内局の予算、給与管理、資金管理、会計業務、本山委員の派遣出張旅費、決算の処理などを行っております。財務・経理業務においては、迅速かつ正確な事務処理ができることと、財務部の基本方針でもあり、常に改善を目指し、成果を上げ、チー

ムワークのとれた部署になることを目標に日々の業務を務めております。

朝から晩まで数字にとらめっこの堅苦しい課と思われがちですが、笑顔の飛び交う明るい課です。

縁の下の力持ちとして、道院長の皆様のサポートをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

宗門の行としての少林寺拳法



Goka Ken, Osae kannuki nage soto

ご か けん
五花拳

おさえかんぬきなげそと
押 門 投 外

押門投外は、五花拳に属する「剛柔一体」の技法である。守者は、攻者の突き攻撃を半月受（開身突）でかわし、掛手を相手の突き手の甲にずらし、門の形に捕って、手首関節の“遊び”を取る。もう一方の手は、攻者の肘関節内側に指を掛け、肘を引くと、攻者の体のバランスが崩れる。手・足・体を連動させ、二足半転身の体捌きで投げる。

撮影／近森千展 文／飯野貴嗣 演武者／守者：川島一浩 正範士七段 攻者：飯野貴嗣 大拳士六段

表紙▶河合 修 愛知県出身。日本を代表する写真家・藤井秀樹氏のアシスタントを経て独立。2009年5月より「ダーマ」をテーマに、『あ・うん』の表紙撮影に取り組む。ホームページは「写真家 河合修」で検索！ 名古屋千種道院、中拳士三段。

.....
編集後記▶一進一退、寒暖の日が続く今年の春、予想より早い桜の開花の中、年度末の慌ただしい時期から新年度に替わる。▶入学式、入社式、定年退職など、期待と不安を感じつつ、長い人生の中では幾つかの出発点がある。▶道院で修行した少林寺拳法の精神で一段と逞しく成長していくことを願う。ダーマの分霊たる自己を信じ、「生きる力」を認識しながら周囲に良い影響を与える自分でありたい。（あ）

金剛禅総本山少林寺オフィシャルサイト
<http://www.shorinjikempo.or.jp/aun/index.html>

2週ごとに更新される代表メッセージをはじめ、金剛禅布教活動に役立つコンテンツを段階的に充実させていきます。また、「宗門の行としての少林寺拳法」を動画でご覧いただけるほか、誌面に掲載仕切れなかった記事・写真も掲載されています。

少林寺拳法

検索

発行人：浦田武尚 発行所：金剛禅総本山少林寺 〒764-8511 香川県仲多度郡多度津町本通3-1-48 ☎0877-33-1010 <http://www.shorinjikempo.or.jp>
編集人：秋吉好美 企画・編集：金剛禅総本山少林寺東京別院 〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-17-5 ☎03-5961-1400 e-mail aun@shorinjikempo.or.jp
金剛禅総本山少林寺広報誌『あ・うん』 2010年5月1日発行(奇数月1日発行)通巻第10号 印刷・製本：(株)ブル・ドック

※本誌の発行に掛かる費用には、SHORINJI KEMPO UNITYによるライセンス事業の収益金が活用されています。

※現在、広報誌『あ・うん』を1道院につき10部ずつ(財団支部は1部ずつ)、毎号ご提供させていただいております。更に追加をご希望の方は本山宗務部にお申し出ください。
(追加1部につき50円を口座引き落とし・送料別途)TEL.0877-33-1010 e-mail fukyoka@shorinjikempo.or.jp



SHORINJIKEMPO